



赤嶺 雅和 議員

本町の都市計画と人口への影響は

答 土地利用がうまくなされていない

問 市街化区域と農業振興地域の人口に大きな開きがある。何が原因と考えるか。

副町長 市街化調整区域内で土地利用がうまくなされていないことは一つの要因と考える。

平成16年度に市街化調整区域内で自己用住宅緩和区域が全域的に定められた。調整区域内でも自己用の住宅が多く建築されている。緩和区域をうまく活用し、土地利用を行うことで段階的に人口増が望めると考えている。

問 本町は那覇広域都市計画区域の中に含まれている。そのため町独自の都市計画が難しいと聞く。那覇広域都市計画から抜けることはできないか。

町長 南風原町には南風原町のまちづくりがある。独自のカラーを出すために広域から抜けることも検討が必要と考える。本町だけの問題ではない。隣市町村と協議し、まちづくりを考えていきたい。

学力向上と教育環境は

問 例年、沖縄県の子どもの学力テスト結果は下位に甘んじている。何が原因と考えられるか。

教育長 全国学力学習状況調査結果で本県は下位に位置している。原因として、本県は夜型社会がある。

- ・朝食摂取率が全国平均より低い
 - ・就寝起床時間が全国に比べ不規則
- など子ども達を取り巻く生活習慣で問題がある。家庭学習時間が少ないことも原因と考えられる。

問 夏場の教室の温度は子ども達が集中できるような環境と思えるか。

教育長 教室の温度は「学校環境衛生基準」で「10℃以上、30℃以下が望ましい」とされる。夏場には33℃となる教室もある。児童生徒が集中できないこともあると思う。



授業風景

こんな質問もしました

・津嘉山駐在所の復活を